

令和8年度 施策事前評価シート

施策責任者 所属	福祉保険課		電話番号	直通	989-5512
基本目標	いきいきとした暮らしを支える 優しいながいずみ				
政策	認め合い支え合うまちの実現		施策分野	地域福祉	
施策分野 の総事業費	前年度 決算額	253,159	千円	今年度 予算額	176,417 千円

施策の進捗状況

	成果指標名称	年度	現状値 (R6)	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和12年	単位	進捗 評価
1	普段生活する中で特に悩みや不安を感じていない町民の割合	目標値	15.7	16.0	41.7	42.7	43.7	45.0	%	A
		実績値	40.7	41.7						
2	ボランティア活動等をしている町民の割合	目標値	9.8	10.0	11.6	11.7	11.8	12.0	%	D
		実績値	11.4	6.9						
3		目標値								
		実績値								
4		目標値								
		実績値								
					総合評価			C：進捗が思わしくない		

事前分析

施策分野における これまでの 取り組みの概要	低所得世帯上下水道料金の助成、成年後見の推進、福祉団体等への補助、戦没者追悼事業の実施、地域福祉計画の策定、福祉会館指定管理委託、福祉会館の施設整備、地域福祉基金の活用、法定外援護費の実施、重層的支援体制整備事業の推進、福祉施策推進・評価委員会による各施策の評価の実施
施策分野における 背景・環境 及び抱えている課題	・住民の家族構成、心身状態、経済状況、価値観やニーズが多様化し、支援が必要な者（世帯）の課題が複雑かつ複合的になっているため、町では令和6年度から重層的支援体制整備事業を開始した。 ・認知症や精神障がいなどで判断能力が不十分な方の権利や財産が侵害されることのないよう、成年後見の推進が求められている。 ・福祉会館の大浴場については、人件費や光熱費の高騰により利用料だけでは賄うことができず、社会福祉協議会の持ち出しが年々増加している。また、設備の維持管理についても、施設の老朽化に伴う修繕も増加している。 ・R7度 浴室使用料収入：7,813千円／浴室支出：12,362千円
施策分野における 改革・改善内容 及び今後の見通し	・避難行動要支援者情報の精度を高めるため個別避難計画の登録様式を変更し、改めて関係機関に理解を求めるとともに、個別計画の管理方法についても協議していく。 ・「低所得世帯上下水道料金助成事業」は、低所得世帯の経済的負担の軽減を目的としているが、物価高騰対策として例年、国が実施している交付金の支給を鑑みると、制度の重複や公平性の観点から事業の見直しを含め、事業内容を検討する。 ・福祉会館の大浴場については、料金の見直し・事業継続の是非について検討を進めていく。 ・住民意識調査の設問内容にボランティアの内容を例示し回答の平準化を図る。 ・地域活動の担い手不足や地域活動の縮小などにより、ボランティア活動への参加機会が減少しているものと考えられる。このため、社会福祉協議会と連携し、活動状況の発信や参加機会の提供などを行い、幅広い世代の参加促進に取り組む。